



こんにちは (*^_^*)

2021年も、あと残りわずかとなりました。

今年は、年初からコロナに振り回された1年でした。

東京オリンピックや、様々なイベントが中止・延期となり、これまでの価値観やライフスタイルを新しい形へと変化を必要とされた日々・・・今、少しずつですが、日常生活を取り戻す一歩がスタートしていると感じております。

まだまだ安心はできませんが、1日も早いコロナ禍の収束を願い、感染予防対策に努め安全第一で訪問させて頂きます！

皆さまの笑顔に出会える今を大切に、2021年を走り抜けます！！



年越し蕎麦の意味と由来！知って食べると見方が変わる！？



家族一緒に、今年も無事に過ごせたことに感謝しながら食べる年越し蕎麦は、なんとも幸せな味がします。

若い世代の方は年越し蕎麦を食べない、という方も多いかもしれません。

しかし、年越し蕎麦の意味を知れば食べないのはもったいない！と思うはず。大人も子どもも、あらためて古くから続く日本の行事食を楽しんでみませんか。

年越し蕎麦の歴史、意味や由来

意外にも年越し蕎麦は、とても長い歴史があります。

年越し蕎麦は英語で「buckwheat new years eve」と言い、その歴史は、鎌倉時代からはじまります。

当時、博多のお寺で年を越せない程貧しい人々に、「蕎麦餅」と呼ばれる蕎麦粉で作った餅をふるまいました。

すると翌年から、蕎麦餅を食べた人々の運気が上がり、蕎麦餅を食べればいいことがあるという噂が広がりました。それから毎年食べられるようになり、それが現在でいう年越し蕎麦となったそうです。

<年越し蕎麦に込められた意味>

そもそも、簡単に作れる料理である「蕎麦」を何故大晦日に食べるのでしょうか？

それは、年越し蕎麦には込められた意味があるからなのです。

1・長生きできるように

蕎麦のように、細く長く過ごせることを願って食べられます。

2・今年の不運を切り捨て、来年を幸運で迎えられるように

蕎麦は切れやすいため、今年の苦労や不運を綺麗に切り捨てて、新しい年を迎えるためとされています。

3・金運が上がりますように

昔の金銀細工師は、細工で散らかった金や銀を集めるために、蕎麦粉を使っていたと言われていました。そのため、蕎麦で金を集めることから、金運が上がるとされました。

4・来年も無病息災でありますように

蕎麦は風雨にさらされても、日光を浴びると再び元気になります。

そのため蕎麦のように、何度も元気に蘇るよにという願いが込められています。

また、中に入っている具にも大切な意味があるのです。

「エビ天は長寿のシンボル」、「油揚げは商売繁盛のシンボル」のように、その具材によって新年への希望を表せますよ。



あさがおスタッフ紹介コーナー



はじめまして
新たにあさがおの一員となりました小堀です。
看護学生の時の在宅看護実習をきっかけに訪問看護
師を目指し、これまで経験を積んでまいりました。
訪問看護は初めてですが、一つ一つの出会いを大切に
日々頑張りたいと思います。
どうぞよろしくお願い致します。

訪問看護師 小堀 香菜 (こぼり かな)

看護学校の実習で訪問看護に触れ、訪問看護師になりたいと総合病院の急性期
で頑張ってきたスタッフです！退院された後、ご自宅での生活が気になり、
訪問看護師になってご利用様のお気持ちに寄り添いたいです。と、あさがお
でお仕事をスタートしました。皆様との出会いを大切に日々車を走らせてくれ
てます。笑顔がかわいく、マスクを外した時の顔は美人さん♡平均年齢を
グッと下げてくれた頼れるスタッフの一人です(笑) スタッフY



訪問の空き状況



※ひたちなか事務所
月～金曜日：若干の空きがあります
土・日曜日：応相談

※水戸事務所
月～金曜日：空きがあります
土・日曜日：応相談

お電話お待ちしております！

* お時間の調整等できる限りご対応させて頂きます。まずは、お問い合わせ下さい。
* 土日は1名体制でご対応させて頂いております。

**24時間・365日緊急時の訪問、
ご対応させて頂きます！**



こんな時こそ「訪問看護」の出番です！

いつまでも自分らしく生きる在宅療養という選択

～ あなたの人生はあなたのもの…

思いを言葉で語ることの意味 ～



一人一人が何を大切にどのように過ごしたいかを周りの人に言葉で伝えることは、とても大切なことです。
自分の気持ちを一番理解している人は誰ですか？

コロナの時代が来て、人と人が出会って語らう場が少なくなってしまいました。コロナ禍では病院の面会が
制限され、最後にご家族が会うこともままならない状況が起こりました。これに限らず、各地で災害が起こり、
いつどのような形でお別れが来るかもしれません。

自分で自分の思いを言葉で伝えることの大切さ。また、伝えられない状況の時、代理として、ご家族や大切な
人が代わりに決めなければならない場面があります。その時、その代理をするあなたの大切な人は「本当に
これで良かったのだろうか」と悩み続けることになるかもしれません。

だから、できるだけ日常の中で「何を大切に生きて過ごしたいか」をご家族と話すことが大切だと感じます。
このような話は、なかなか切り出せないものです。また、「気が変わる」こともあるでしょうから、できれば
明るく笑顔で何度も繰り返しお話をすることをお勧めします。

さあ、人生会議しましょう。

一人一人の「どう生きるか」をご本人ご家族と一緒に考え、人生に寄り添う看護の大切さ必要性を感じ、
私たちあさがおのスタッフは、在宅での生活が24時間ご家族と共に、安心して安全に送れるよう
サポートしていける存在でありたいと考えます。



一人ひとりの利用者様を大切に
心に寄り添う看護をおとどけます

訪問看護ステーション あさがお

管理者 吉崎 由希子

ひたちなか TEL029-229-0014 FAX029-229-0081

水戸 TEL029-297-8015 FAX029-297-8016



これからも、皆様のお力に添えるようスタッフ一同
努力し、たくさんの笑顔と出会い、地域の皆様が
ご自宅で安心して暮らせるよう全力でサポートします。

*ひたちなか事務所

吉崎由希子・大森由紀・寺山恵

武藤文子・三浦百合子・佐藤葉子・二川陽子

*水戸事務所

小堀香菜・中野実夏・遠藤正恵

理学療法士・小橋 作業療法士・岡田